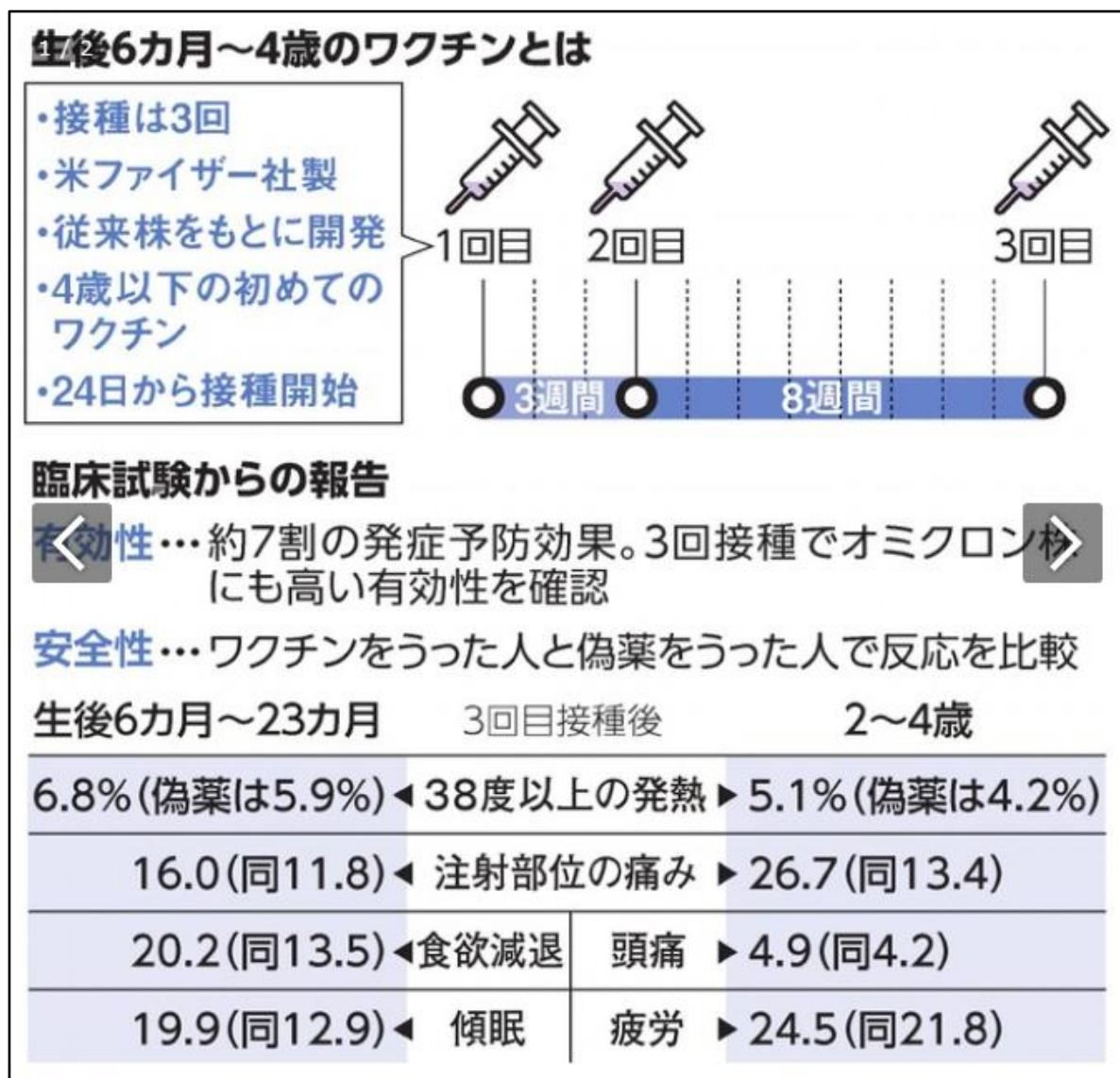


4歳以下のコロナワクチン接種開始 「3回接種でオミクロンに効果」

2022年10月24日朝日新聞

生後6カ月～4歳を対象にした新型コロナウイルスのワクチンが24日から接種できるようになった。原則無料の公費接種で、5歳以上と同様に予防接種法上の「努力義務」としている。これまで小児向けとしては、5～11歳が対象のものはあったが、4歳以下の子どもが使えるワクチンは初めてとなる。【図表】そもそも解説 4歳以下の乳幼児コロナワクチン、効果や副反応は？



ワクチンは米ファイザー社製で、接種1回あたりの有効成分の量は、5～11歳用のワクチンの3分の1以下で、計3回うつ。中国・武漢由来のウイルスに対応しているが、臨床試験では、オミクロン株に対しても7割程度の発症予防効果が確認されている。厚生労働省によると、治験などでは腕の痛みや発熱といった副反応が報告されているが、いずれも軽症という。

子どもは感染しても軽症のケースも多いとされるが、基礎疾患がなくても重症化する場合もあり、低年齢に多くなる傾向も報告されている。努力義務は、法律上は接種を受けるように努める必要があるが、強制ではなく希望者が接種する。(神宮司実玲)